

千秀だより

横浜市立千秀小学校

4月号

平成29年(2017)4月 5日



平成29年度のスタートに当たって

校長 市川 幸男

平成29年度。新しい一年が始まりました。開花とともに訪れた冷え込みで開花が遅れ、新年度開始の時にちょうど満開となった桜の花。明るさや活気を感じる黄色や赤色に咲き誇る花々、そんな花に囲まれた華やかな風情の中、子どもたちが、元気に登校して参りました。一つ進級した子どもたちの表情には、喜びや希望とともに、新しい学年への意気込みも感じられました。新年度は、新しい出会いによって始まります。年度が切り替わる今こそ、大きく自分を変えるよい機会でもあります。子ども達は、新たな友達・担任との出会いを大切に、新たな気持ちで、平成29年度の学校生活をスタートすることと思います。目標をしっかりと持ち、今年度の第一歩を踏み出そうとする子ども達の思いを応援していきたいと思えます。本日、36名の1年生を迎え、児童221名、11学級、教職員25名で、千秀小学校の平成29年度がスタートしました。ご入学・ご進級、誠におめでとうございます。

校門で登校する子どもたちを出迎えつつ、その後続く始業式や入学式で何を投げかけようかと毎年悩みます。新しいスタートを迎えた元気な心が一年間続き、大きな実りとなることを祈って話を考えるのですが、教員の性なのか、どうしても話しているうちに説教くさくなっていきます。「また始まった」と、子どもたちの表情が硬くならないうちに切り上げようと心がけているのですが、あれもこれもと続いていき、降壇するときには、反省ばかりが頭の中をよぎります。今年は三つの大切にしてほしいことを話しました。

一つ目は、命を大切にすること・自分を大切にすることです。春休み中も子どもが犠牲になる痛ましい事件の報道がありました。事故やケガ、予期せぬ災害などからも「自分の命は自分で守る」こと、同様に「他人の命も、自分の命と同じくらい大切にしてほしい。」こと、「苦しい時や辛い時は、一人でがまんしないで誰かに相談してほしい。」命を大切に、生きていく力を育ててほしいと願っています。その実現のために「学校はとことんがんばります。」と宣言しました。

二つ目は、「思いやりの心」です。私たちは、家族や友だち、先生方などたくさんの人に囲まれて生きています。互いの違いやよさを認め合い、誰かが困っていたら助けてあげてほしい。また周りの人が喜ぶことをしてほしい。特に、人の嫌がること、いじめを千秀小では絶対に許さないことを確認しました。

三つ目は、「勇気」です。「挑戦する心」です。学習も運動も生活も、すべてに高い目標をもってチャレンジしてほしい。新しい学年で学ぶすべての勉強、活動、そして仲間作り等々。自分で決め、勇気をもって一歩を踏み出し、自分で進み続ける強い心を大切にしていってほしい。そしてそんな皆さんを学校は力一杯サポートすることを伝えました。

以上3点を確認しながら、今年度も千秀小学校の絶対的テーマでもある「千に秀でる子の育成」を高く掲げ「未来に生きる力を育てる学校」「保護者、地域から信頼される安心安全な学校」を目指し、教職員・保護者・地域が連携し、それぞれの役割と力を発揮しながら教育活動を展開してまいりたいと思えます。子どもたちの幸せの実現のために全力で取り組んでまいりますので、ご理解・ご支援のほど、どうぞよろしくお願いいたします。